恩系女性の

「女性の活躍」や「ダイバーシティ」への注目が高まっている。 女性が活躍できる社会の実現のために、どのような取り組みが行われ、 経済産業省で女性活躍推進

産業技術環境局 大学連携推進室 室長補佐 船橋憲氏、

同室 山城真理子氏に話を聞いた。



経済産業省

[左] 山城真理子 産業技術環境局 大学連携推進室 産業技術環境局 大学連携推進室 室長補佐 現状について聞かせてください 高まっているようですが、日本における女性活躍の 近年では官民ともに女性活躍への注目が

して活躍する方も徐々に増えてきました。しかしなが 労率が落ち込む「M字カーブ【図1】」の落ち込みがま 日本における女性の活躍は増加傾向にあり、役職者と 海外と比較すると、 986年に男女雇用機会均等法が施行されて以降 出産・育児の前後で女性の就

2】、先進国では最低水準となっています。

そのような状況を変えるべく、安倍政権では「女性

「ウーマノミクス(就業する女性が増えることに

ければ、リーダーとして活躍する女性も増えません。日

も少なくありません。長期的なキャリア形成が望めな 非正規雇用となってキャリアが途切れてしまうケース

本企業の役員における女性比率は3.4%に過ぎず【図

第一子出産を機に会社を辞めており、社会復帰しても だまだ大きいのが現実です。日本では女性の約5割が

女性の長期的なキャリア形成において、

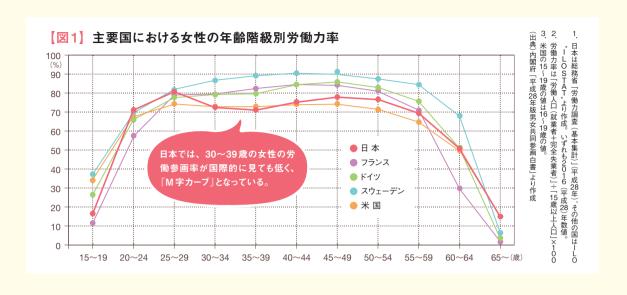
要な要素と考え、特に力を入れています。

が活性化するという考え)」が成長戦略において極めて重 よって、企業活動活性化や消費拡大といった効果が表れ、 の活躍」、

何がネックとなっているのでしょうか

られます。 働環境では現実的に両立が難しい」と考えるケースも 働環境の整備を進めていきたいと考えています。 会社風土を変えていくために政府と企業が協力して労 いう空気が残っている企業もあり、 たい」といった自発的な離職もありますが、「現在の労 第3次安倍再改造内閣でも重点課題として「働き方 M字カーブの問題について言えば、「家庭に専念し 長時間労働が大きな阻害要因になっているとみ 日本ではまだ「長時間労働が当たり前」と そういった考えや

変化の激しい時代に求められる女性の力 が後押しする女性活躍の取り組み



―その他にも政府主導で様々な

取り組みが行われています

ていきたいと考えています。 略として、 資家向けに公開する 長期的に企業価値を生み出し続けている企業を選定す 企業を表彰する 様な人材の能力を活かして経営上の成果を上げている 生の皆さんは企業を調べる際に活用してほしいですね れます。これらの情報は「女性の活躍推進企業データベー 企業は管理職の女性比率や勤続年数の男女比など、 労働者301人以上の企業は 活躍推進に優れた上場企業を中長期成長銘柄として投 ス」に登録され、インターネット上で閲覧できるので、学 性活躍の現状を把握して行動計画の作成・公表が求めら た行動計画の策定」などが義務づけられました。 その他にも、 から評価 2016年4月から「女性活躍推進法」 「100選プライム」を創設しました。 について、 女性活躍に取り組んでいる企業を様々な角 ・発表することで、 さらに拡充して、 女性だけでなく外国人や高齢者など多 「新・ダイバーシティ経営企業100 「なでしこ銘柄_ 「女性の活躍推進に向け 社会全体の意識も変え 今年度から新たに中 なども、 。また、 が施行され 女性

行計画をまとめ、必要な法案の成立を目指しています。間労働の是正」に言及して働き方改革担当相を新設。実改革」を進める考えを表明しており、安倍首相自ら「長時

政府が女性活躍を推進する理由は

性の活躍は不可欠な要素だからです。また、多様化すている日本経済が、今後も持続的に成長するために女少子高齢化、労働人口の減少といった問題に直面し

(人)

1400

1200

1000

800

600

400

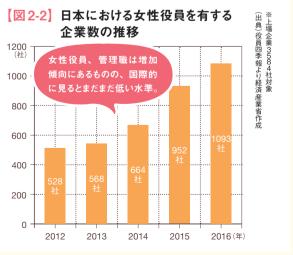
200

0

1.6%

2012

2013



2.1

2014

2015

(%)

3.5

3.0

2.5

2.0

1.5

1.0

0.5

2016(年)

きるダイバーシティ経営がカギとなります。 る市場ニーズや複雑化するリスクへの対応力を高める ためには、 均質的な組織でなく、多様な人材が活躍で

につながります。 部上場の全銘柄を対象とした株価指数)のパフォーマンスを 性活躍に優れた企業はTOPIX(東京証券取引所第1 出すことに成功している企業もあります。 を取り入れることで消費者ニーズに応える製品を生み もあります 上回っており、収益率が優れているというデータ【図3】 たような属性の人材で構成される均質的な組織は変化 ダイバーシティとは人材の多様性を意味しますが、 多様な価値観があれば企業ガバナンスの向上 具体的な例を挙げると、 さらに、 女性の視点 女 似

理系女性の活躍に関する取り組みはあるのでしょうか

ごとにどのような専門人材が求められているかを学生 月に公開しています。リケジョナビでは、 を高めるため、 ります。 んには、 に反映してもらおうというものです。 られるスキルを早期に把握し、 に情報提供します。学生が就職を希望する業種で求め ステム、 専攻の理系女性が多い、といった分野偏在の問題もあ 系女性への企業ニーズは高いものの、 その傾向は一層顕著です。 理系分野に進学する女性は未だ少なく、 系人材の重要性は年々増しています。 今後の日本経済において、 リケジョナビを活用して、 企業ニーズと学生のスキル双方のマッチング 「リケジョナビ」のプロト版を2017年3 経産省ではこれらを見える化できるシ 機械電子系の知識がある理 イノベーションを担う理 大学での履修科目選択 残りの大学生活を 実際には生物系 理系女性の皆さ ご存知のように 専攻によって 企業の業種

の

ベラルアーツも重要です。貴重な学生生活の間に幅広 識はもちろん大事ですが、 より有意義なものにしてほしいですね。 いことに興味を持ち積極的に学ぶことをお薦めします 社会に出ると一般教養やリ また、 専門知

キャリアや就職に関するアドバイスをお願いします 理系女子の読者に向けて

的に求めていくことが期待されています。 何をなしとげたいのか」、「どのような人生を送りたい 頂きました。長く働くことを超えて、 のような支援を行うべきか悩んでいるという声を多数 ること、また自身としてどのようなキャリアを歩みた 皆さんにどのようなキャリアを期待しているのかを知 認することはもちろん大事です。加えて、 選びで仕事と家庭の両立や長く働けるための環境を確 女性のキャリアに少なからず影響を与えるため、 「理系女性活躍促進シンポジウム」を行った際、 か」を考え、キャリア形成に必要な支援を自ら積極 人事担当者の方から、 かを明確にすることも重要です。 結婚・出産をはじめとした様々なライフイベントは 皆様に期待を寄せる一方、 先日、 「仕事を通じて その企業が 経産省で

L١

の

き生きと活躍されることを期待しています。 います。 す な機会を積極的に活用してほしいと思います。 る団体がイベントを多数開催しているため、 は企業のOG訪問窓口だけでなく、 近 が、 今後女性リーダーが求められる時代といわれていま 「な「メンター」に相談することも有用です。 キャリアプランを考える上で、 リーダー自身の在り方、 自分のスタイルを生かし、皆さんが社会で生 働き方も多様になって 大学の先輩などの身 理系女性を支援す そのよう 最近で

> 年1月5日の終値を100として平成29年1月末までグラフを作成) 社について指数を試算し、TOPIXの推移と比較しています。(平成21 ※インデックスの試算について/平成2年度なでしこ銘柄の選定企業47 企業における女性活躍支援の在り方に関する実態調査 ((出典)平成28年度なでしこ銘柄 ,経済産業省委託事業「平成28年度





就職活動の際にチェックしたい情報

女性の活躍に力を入れる企業を、様々な角度から評価している認定制度やランキングがあります。女性が活躍できる企業を探したり、調べたりする際には、これら認定制度やランキングをぜひチェックしてみてください!

女性活躍に優れた上場企業を選定 なでしご銘柄

経済産業省と東京証券取引所が共同で、女性活躍推進に優れた上場企業を「なでして銘柄」として選定し、2012年より毎年発表しています。なでして銘柄は、東証一部上場企業の中から業種ごとに、女性が働き続けるための環境整備を含め、女性人材の活用を積極的に進めている企業を紹介しています。「中長期の企業価値向上」を重視する投資家に対して、女性活躍推進に注力する上場企業を紹介し、さらなる投資を促すことで各社の取り組み促進を期待します。



先進的なダイバーシティ推進企業を選出

新・ダイバーシティ経営企業100選/100選プライム

ダイバーシティ経営によって企業価値向上を果たした企業を表彰しているのが、「新・ダイバーシティ経営企業100選」(経済産業大臣表彰)です。経済産業省が2012年から実施しており、ダイバーシティ推進に取り組む企業のすそ野拡大を目指し、ダイバーシティを経営成果に結びつけている企業の先進的な取組を広く紹介しています。さらに2017年度からは、より中長期的に企業価値を生み出し続ける取組としてステップアップするべく、「ダイバーシティ2.0」に取り組む企業を「100選プライム」として、新たに選出します。





子育で支援に積極的に取り組む企業を認定

くるみんマーク・プラチナくるみんマーク

くるみんマークは、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定をうけた証で、2017年3月末時点で、2,695社がくるみん認定を受けています。さらに、2015年4月より、くるみん認定を既に受けた企業のうち、特に両立支援の制度の導入や利用が進み、高い水準の子育て支援に関する取組を行っている企業を評価する『プラチナくるみん認定』がはじまりました。2017年3月末時点で、すでに118社がプラチナくるみん認定を受けています。



女性活躍推進法に基づく認定マーク えるぼし

2016年に施行された女性活躍推進法(女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)に関して、行動計画の策定および策定した旨の届出を行った企業のうち、一定の基準を満たした優良企業は厚生労働省から「えるぼし」認定が受けられます。えるぼし認定における評価基準は、女性社員の平均勤続年数の長さ、管理職の割合、多様なキャリアコースの有無などがあり、認定企業は女性が活躍しやすい環境づくりに積極的な企業・団体といえます。







1段階目

2段階目

3段階目